

第2回 可児市地域公共交通協議会 議事要点録

1. 開会日 平成31年1月18日（金曜日）
開会時間：午後2時00分
閉会時間：午後3時30分
2. 開会場所 可児市役所4階第1会議室
3. 出席者 会長、協議会委員13人、代理委員4人、事務局3人
4. 議事 協議第3号 可児市地域公共交通網形成計画（案）について

5. 会議内容

開会

事務局

開会を宣言した。

会長あいさつ

会長

あいさつを行った

非公開情報の確認

事務局

非公開情報はない旨を報告した。

議事録署名者の指名

会長

議事録署名者として、2名の委員を指名した。

協議第1号

事務局

可児市地域公共交通網形成計画（案）について、資料1に基づき説明を行った。

質 疑 応 答

委員

68ページの個別事業の数字について、それぞれが乗降者数なのか、駅利用者数なのか、券販売数なのか、何をカウントした数字なのかをしっかりと書いた方がよい。

電話で予約バスについて、日あたり0人になったら廃止という方針でないなら、地区ごとの利用者数ではなくて、別の指標がよいと思う。

65ページの7段目のYAOバスの現行サービスの維持について、主体が可児市・八百津町・御嵩町・交通事業者とあるが、ここにいない方々がかかれているものを、ここで承認しても良いか、調整がついているならその旨の説明を頂きたい。

緑ヶ丘線に関して、今は県の単独補助だと思います。その補助の周期とこのスケジュール感があっているのかと、多治見市さんとの調整がついているのかを教えて欲しい。

キャッシュレスはQRコードを含むなど、口頭で説明頂いた部分をきちんと書いておいた方がいいように思う。

事務局

評価についてはもう一度検討して、皆さんに分かりやすいものを提示する。

電話で予約バスについては今すぐに答えられないため、今一度検討することとする。

YAOバスについては、毎年関係者で協議会を開催しており、そこで現状を維持するという意思の疎通が図られている。

委員	<p>緑ヶ丘線について多治見市さんとはまだ全く行っていない。こうした補助を行うという意思表示をして、それに沿って調整をしていきたい。</p> <p>アンケートで乗り継ぎがうまくいけば公共交通を使うという意見がある。その中で65ページについて、路線間のシンクロということなので書きにくいだろうが、皆さんが思っていることはちゃんとやりますよ、ということを見える形にして欲しい。</p> <p>59ページに交通結節点を整備すると書かれているが、事業の方に書かれていないので違和感がある。</p> <p>交通結節点は可児駅・新可児駅だけでよいのか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、乗り継ぎに関する施策については、バスロケーションシステムの導入や、分かりやすい情報の提供という部分で書いてあるが、道筋が見えるように分かりやすく書き直したいと思う。</p> <p>交通結節点については、可児駅・新可児駅・西可児駅が中心であるが、もう一度洗い出しをする。</p>
委員	<p>前回の資料では交通結節点に桜ヶ丘が含まれていたと思うが、今回の資料で外れているのはなぜか。</p> <p>「可児駅・新可児駅」という名前は「新可児駅」に統一できないか。</p>
事務局	<p>桜ヶ丘は生活の拠点であるが、公共交通網を考える中で交通結節点としては弱いため外した。しかし、広域交通としては桜ヶ丘にも機能を残していくことに間違いはない。</p> <p>公共交通に関する計画であり、正確に併記したい。</p>
委員	<p>隣接市との連携を強めて、公共交通を活性化させる考えはあるか。</p> <p>昨年4月より公民館が地区センターになり、地域コミュニティの核となった。地区センターへのアクセスが悪いように感じており、今回の計画にも書かれていないが、公共交通の支援はどうしていくのか聞かせて欲しい。</p>
事務局	<p>隣接する市町とは連携をとって進めていきたい。</p> <p>地区センターについては、ご指摘の通り地域コミュニティの核である。現在は電話で予約バスが乗入れているが、ご利用が少ない状況にあり、しっかり周知をしていきたい。</p>
委員	<p>高齢者が増えると免許返納という話になる。返納すると不安だという声を聞くので、一層きめ細かい整備をお願いしたい。</p> <p>NHKの大河ドラマがあるということで、しっかりと広見線の活性化につなげていただきたい。</p>

事務局	<p>免許返納者については、乗車機会の提供ということで、一度ではあるがバスの回数券11枚つづりを1冊配布している。高齢者への施策については、今後も福祉部局と連携していきたい</p> <p>大河ドラマについては、名鉄や活性化協議会とも連携しながら施策を進めていく。</p>
委員	<p>52ページのサービス確保に関する考え方について、集中するときは15分に1本ではないかと思う。1時間に1本だと利用できない。</p> <p>公共交通だけでは限界があるならば、カーシェアリングやシェアサイクル等も活用して併用する考えはあるか。</p> <p>高校生の通学で自転車を利用する割合が高いが、自転車は事故が心配であるため、公共交通をうまく活用できないか。</p>
事務局	<p>サービス確保については、間隔が短くなれば利便性は上がるが、費用面や乗務員確保の面において問題がある。</p> <p>カーシェアリングやシェアサイクルについては、需要が見いだせるならば、検討していく価値があると思っている。</p> <p>進学先を選定する中学生に、通学手段としてのバスを紹介することで利用につなげ、交通事故の減少に寄与させたい。</p>
会長	<p>高校生の足の確保という点では、名鉄広見線を支援する形ですで行っているが、さつきバスに関してはダイヤや路線等を検討する際に考慮に入れていく必要があるが、なかなか難しいと思われる。</p> <p>質問がないようですので、お気づきの点があれば事務局まで頂戴するとして、本日はいったん締めさせていただきます。</p> <p>頂いた意見を参考として、次の協議会に計画案を示して欲しいと思う。</p>
<p>その他</p> <p>事務局</p>	<p>店舗移転に伴う停留所名称変更について、資料2に基づき説明を行った。</p> <p>「標準的なバス情報フォーマット」によるバスデータの公開について、説明を行った。</p> <p>名鉄広見線新可児駅～御嵩口駅開通100周年記念映画製作プロジェクトについて、パンフレットに基づき説明を行った。</p>
<p>閉会</p> <p>事務局</p>	<p>閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>